

ボランティア初心者講習会



炊き出し体験

また、市内の中学校で毎年開催している「ボランティア初心者講習会」では、花輪中学校で災害発生時の「炊き出し体験」と「避難所設営体験」が行われました。

今年7月に発生した、秋田県大雨災害発生時の映像を使用し、災害時の避難行動について理解を深め、「避難所設営体験」では、段ボールを使用して設営体験を行ったほか、実際に発電機を作動させたり、ハザードマップの確認を行いました。

参加した生徒たちは、今回の講習を通して災害時の対応や心構えを学んでいました。



発電機を作動



避難所設営体験

初心者講習会に参加した生徒さんへインタビュー



花輪中学校1年
伊藤 健人さん

経験したことがなかったので今回の参加を決めました。自然災害による被害について学べたほか、初めて発電機を使ったりなど勉強になることがたくさんありました。



花輪中学校2年
田口 龍星さん

災害が発生した時、逃げ場の確保や避難所設営ができるよう、今回学んだことを常に心がけたいです。そして将来困らないようにしたいと思いました。

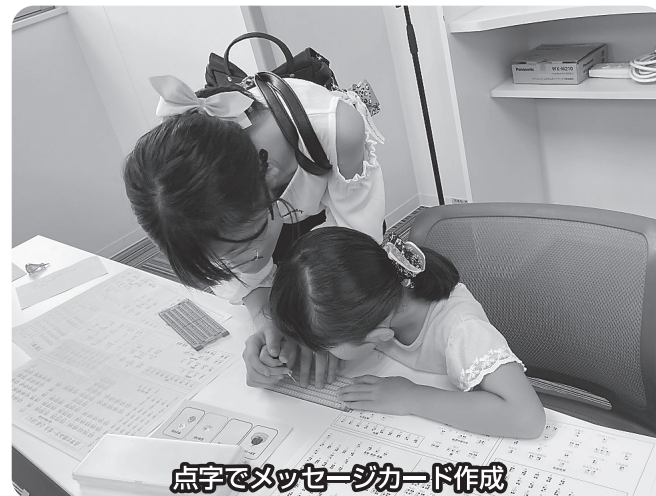


花輪中学校3年
大庭 健太さん

食事や発電も平常時より難しいと感じました。日本は自然災害が多いので、いざという時に困らないよう、今回の経験を活かしていきたいです。



おいでよ☆ふくしの杜 カメラスケッチ



点字でメッセージカード作成



白バイが遊びにきました



盲導犬とのふれあい



初めてのAED体験(日赤)

夏休みボランティア福祉体験チャレンジ学習2023



地域の高齢者サロンに参加しました

当会ではこの夏、小中高生を対象にした福祉体験活動やボランティア講習会を開催しました。このうち、「夏休みボランティア福祉体験チャレンジ学習2023」では、「将来福祉の仕事をしたい」、「福祉について学びたい」など、福祉に興味を持つ子ども達が参加し、高齢者や障がい者の福祉施設のほか、地域の高齢者サロンに参加しました。

参加者は、利用者と交流したり福祉の仕事のいったんを



高齢者の食事のお手伝い

体験。高齢者施設で食事のお手伝いをした参加者は、介護体験を通して利用者との交流を楽しんでいました。

参加者は、「利用者さんの目線に合わせて会話やお茶の温度など細かな事にも気を配ることができた」、「いろんな方と関わり、話をすることで今と昔の生活の違いを知ることが出来て楽しかった」など、実りある体験になりました。

※3ページへ続く

夏のボランティア体験学習2023
体験を通じて福祉について考える